



進級して2ヶ月が経ち、子ども達はすっかり生活に慣れてきました。友達の名前を呼び合ったり、自分の好きな遊びを見つけてたくさん遊んでいます！園庭ではアリやダンゴ虫、時には初めて見るような不思議な模様の虫も姿を見せてくれています。

今月は着脱についてお伝えしたいと思います。最近子ども達は身の回りのことを「自分でやりたい！」という気持ちが現れ初め、「どうやって脱ぐの？」や「できないから手伝って」と大人に言葉や仕草で伝えてくれることが増えてきました！子ども達がどんな様子で頑張っているのか、大人がどんなところに気を付けて支援をしているのかをご紹介します♪



Tシャツ・肌着

脱ぐ時→子ども達には袖を引っ張って脱ぐことを伝えています。はじめは大人が袖を引っ張って子どもが腕を抜きやすいようにお手伝いをしています。

「一緒に引っ張ってみよう」と声を掛けると大人と一緒に引っ張って脱いでいる子や自分で脱いでいる子もいます。

着る時→服の絵柄などを用いて前後の向きを伝え、自分で服の裾をもって頭から被れるように渡しています。声掛けの際には、具体的にどの部分を持つかわせたり、出来ている所を具体的に褒める、やろうとしている時には励ましたりしながら自分で出来るように支援しています。



ズボン

脱ぐときや履く時にかかるとに引っ掛かり苦戦している子もいます。履く時は大人が引っ張る部分を知らせたり、脱ぐときにはかかるとに手を入れてごらんと声をかけています。ズボンがお尻で引っかかる時にはズボンの後ろを引っ張ってみることを伝えています。

シャツを着る時に「この絵が前に来るようにクルクル回してごらん」、ズボンを履く時に「右足いれてごらん」等と生活の中で自然と前後左右の方向を知れるような言葉掛けも心掛けています。

これから夏になると水遊びも始まります。着脱の場面も増えてくるので、今より更に！自分で意欲的にできるよう言葉を掛けたり、自分でできた！と達成感を感じられるような支援をしていきたいと思っています。

「靴のかかるとに
ついてる紐引っ張って
ごらん！」

「靴下は広げてつま
先から入れるよ～」

自分で
畳む練習も
しています！

畳めたら自分の
汚れ物入れに！！



服やズボンなどの着脱は日々の積み重ねで培われます。園では、子どもたちの「自分でやりたい！」という気持ちを大切にしながら最後まで見守り励ましながら支援しています。子ども達が毎日着替える洋服は、自分で着脱がしやすいように少しゆとりのある脱ぎ着しやすいデザインのものをおすすめです。ぜひ、おうちでもお時間があるときにはお子さんの着脱を見守り、頑張っている姿をたくさん褒めてくださいね(^_^)♪

